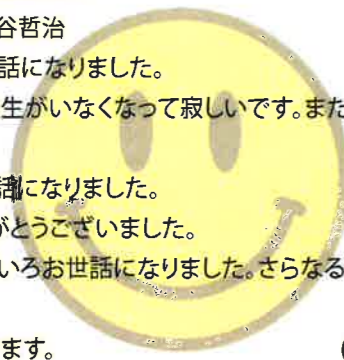


ニコニコ箱

【誕生日御祝】尾崎隆伸
 【在籍御祝】小谷哲治
 1年9ヵ月お世話になりました。(早川信之)
 早川さん、同級生がいなくなって寂しいです。また、遊びに来て下さい。(上田祐広)
 早川さん、お世話になりました。(加藤 誠)
 早川さん、ありがとうございました。(木下勝元)
 早川さん、いろいろお世話になりました。さらなる御活躍を期待しております。(椿原徹也)
 中座させていただきます。(増田喜一郎)
 各 君



米山奨学特別寄付金

宇野良二
 炉辺会談でsu-muをご利用いただきありがとうございました。(加藤幹夫)
 短い間でしたが、ありがとうございました。(早川信之)
 各 君

ロータリー財団増進特別寄付金

伊藤仁一郎
 25日炉辺会談に出席出来ました。(北島 恬)
 わが身の未熟さを痛感しております。[会長、監事]
 (野村直之)
 各 君

寄付金の状況

	9月27日分	累計	目標
ニコニコ箱	26,000円	884,000円	3,200,000円
米山奨学金	7,000円	935,000円	2,372,000円
ロータリー財団	9,000円	1,464,141円	3,052,600円

ありがとうございました。

ビジター受付

- 10月5日(金) 福井あじさい ホテルリバーージュ あけぼの
- 10月5日(金) 三国 三国観光ホテル フロント
- 10月9日(火) 福井南 織協ビル 正面玄関
- 10月16日(火) 福井南 織協ビル 正面玄関
- 10月19日(金) 福井あじさい ホテルリバーージュ あけぼの
- 10月25日(木) 福井水仙 福井パレスホテル 18:00-18:30
- 10月26日(金) 三国 三国観光ホテル フロント
- 10月31日(水) 福井北 ザ・グランユアーズ フクイ 1階正面玄関
- 11月9日(金) 福井西 バードグリーンホテル 正面玄関口
- 11月9日(金) 三国 三国観光ホテル フロント
- 11月13日(火) 福井南 織協ビル 正面玄関
- 11月15日(木) 福井水仙 福井パレスホテル 18:00-18:30



お礼

【西日本豪雨災害 義捐金の御礼】

謹啓 爽秋の候、貴クラブにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素よりロータリー活動にご尽力、また地区運営に深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今般は、西日本豪雨災害「義捐金募集」に際しまして、義捐金をお届けいただき誠にありがとうございます。既に当該被災地区へは「地区災害対策基金」から支援を致しておりますので、お届けいただいた「義捐金」は「地区災害対策基金」へ入金させていただきます。

略儀ながら書中をもちましてお礼申し上げますとともに、貴クラブの益々のご発展をお祈り申し上げます。

第2650地区 ガバナー 中川 基成
 幹事長 岩井 第二

【セイタカアワダチソウ駆除ボランティア活動】

去る9月16日(日)ドラゴンリバー交流会主催、セイタカアワダチソウ駆除ボランティア活動を実施しましたところ、皆様には大変お忙しい中、17団体(約200名)と多くのご参加を頂きありがとうございました。お陰様で天候にも恵まれて、今年も大変綺麗になりました。重ねて御礼申し上げます。

今後とも皆様方の変わらぬご支援・ご協力と、末筆ながら皆様方の益々のご発展をお祈り申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

特定非営利活動法人 ドラゴンリバー交流会



事務所 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号加藤ビル5階 TEL:0776-25-0633 FAX:0776-24-8622
 例会場 ユアーズホテルフクイ4F TEL:0776-25-3200 例会 毎週木曜日12:30~13:30
 クラブ会報委員会 委員長:前川小百合 副委員長:椿原徹也 委員:早川信之・北 晋介・加藤 誠
 ソングリーダー チーフ:野尻章博 木瀬雅博・杉本裕之・初瀬川達郎・長谷美左子・角谷恒彦・松田将裕
 ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com
 創立 1950年(昭和25年)10月15日 RI承認 1950年(昭和25年)11月4日(承認No.7647)

現在 会員数 138名



ROTARY CLUB of FUKUI

クラブスローガン: 学び、ロータリアンに



R.I. District 2650
 2018-2019 Weekly Bulletin

2018年10月4日 第2394号(創刊2550号)



2018-2019年度
 R.I.テーマ:インスピレーションになる

R.I.会長 パリー・ラシン R.I.第2650地区ガバナー 中川 基成

福井ロータリークラブ会報

地区スローガン:ロータリーを学び、実践し、発信しよう!
 Enjoy Rotary

理事	監事	役員補佐
会長 渡邊 義信	クラブ奉仕 石丸 敦士	監事 玉木 洋
副会長・会長エレクト 林 正岳	職業奉仕 佐々木知也	副幹事 清川 卓二
直前会長 平野 洋一	社会奉仕 江守 康昌	副会計 清水 正一
幹事 森川 圭造	国際奉仕 清水 則明	副会場監督 奥村 隆司
会計 浅井 正勝	青少年奉仕 藤本 潤一	副会場監督 中広 久
会場監督 片山加奈子	ロータリー財団 野村 直之	

10月は「米山月間」です

→より一層理解を深めよう。←

「経済と地域社会の発展月間」です

→地域社会の発展を支援してロータリアンの夢を叶えよう。←

本日の例会 2018年10月4日 第3345回

今後の予定

12時30分 開会点鐘 会長挨拶

米山奨学金授与

栄誉行事

皆出席御祝/ 吉岡正巳(27年)・玉木 洋(4年)・岩崎 新(2年)
 在籍御祝/ 伊井彌州雄(15年)・斉藤信二(15年)
 誕生御祝/ 荻原昭人・浮田慎太郎・油谷啓司・斉藤信二・山内鴻之祐・山本 恵・英 貴子・宇野良二・角谷恒彦・酒井哲夫・田畑賢一・平谷美智夫

配偶者誕生日御祝/ 高木義秀・山内鴻之祐・大門博也・安東秀哲・千頭和孝則・清水盛伸

結婚記念日御祝/ 山内鴻之祐・萬谷宏治・大森正男・吉田清二・朝倉真博・清水盛伸・平野洋一・斉藤信二・齊藤英夫・山井久也・清水正一・高木義秀・稲田朋美・小森富夫・清水慶造・清水嗣能・渡辺崇嗣・山本 恵・伊藤 昂・笹木竜三・清水則明・加藤初夫・藤本潤一・小泉達哉・山本道隆

委員会報告・幹事報告・その他

米山奨学生卓話(トランティアさん) 演 題「私と日本の出会い」

13時30分 閉会点鐘

- 10月11日(木) ハラスメントについて勉強会 (講師:後藤 正邦 会員)
- 10月16日(火)-17日(水) 大分 RC 友好訪問
- 10月18日(木) 創立68周年記念例会 (夜間例会)
- 10月25日(木) 会員卓話(清水 嗣能 会員)
- 11月1日(木) 栄誉行事/ 地区委員報告 (木瀬地区インターアクト委員)

2018年9月27日 第3344回

出席報告

● 現在会員	138名
● 出席者	92名
● 欠席者	40名
● 出席免除者欠席	6名
● 今回例会出席率	69.7%

例会修正出席率

● 9月13日	
● メークアップ	24名
● 欠席者	23名
● 修正出席率	82.6%

●メークアップ 渡邊義信(9/22 ガバナー杯野球大会組み合わせ抽選会)、武本一美・市橋信孝・大村宏司・西田高宏(9/25 福井南)、山内鴻之祐・竹内正美・渡辺崇嗣・西澤雄三・市橋信孝(9/26福井北)、清水則明・白江文夫・片山元・林正岳・北晋介・石橋正人(9/27福井水仙)、渡邊義信・森川圭造・吉田清二・清水則明・山井久也・萬谷宏治・細江究・岩下春幸・西田高宏・鍋屋昌明・藤井健夫・北島恬・石橋正人・吉岡正巳(9/27 友好双子クラブの集い) 各 君

例会報告

退会の挨拶

早川 信之 会員

私事ではございますが、11月1日から金沢の本社に転勤となり、例会に出られないのが残念ながら本日が最後ということになりました。1年9ヵ月の短い期間でしたが、皆さんと楽しい時間を過ごせたこと、ご先輩方の行動など非常にためになる事があり感謝しております。どうもありがとうございました。

幹事報告

幹事 森川 圭造

本日の例会にてクールビズは終了し、次週10月4日(木)例会よりネクタイ、ジャケットの着用となります。



次回の例会 2018年10月11日(木)

● 会場:ユアーズホテルフクイ
 ● ハラスメントについて勉強会 (講師:後藤正邦 会員)

● 開会点鐘:12時30分
 ● 閉会点鐘:13時30分

第1回 炉辺会談 議事録 議題 「家族について」 No.1

【第1班】 日 時：2018年9月13日(木) 場 所：SU-MU

出席者：(座長)尾崎隆伸、浅井正勝、伊井彌州雄、上田祐広、覺井浩一、片岡正明、加藤幹夫、城戸利枝、後藤正邦、清水盛伸、長田裕美、橋本泰久、早川信之、平野洋一、前川小百合、増田喜一郎、村上与司和、(世話役)加藤 誠 計18名

- 人生においての幸せには8つの領域がある。家族、感謝、趣味、健康、仕事、経済、交友、文化。この8つがバランスよく調整することが大切。
- 仕事ばかりではなく、休みを取り、家族との過ごす時間を必ず取るようにしている。常に、家族への感謝の気持ちを忘れずに。
- 家族は自分以外の大切な存在。自分の帰る場所であり、心安らぐ場所。家族の幸せを常に考えることが大切。
- 記念日(誕生日、結婚記念日)は大切にす。その時に感謝の気持ちを忘れずに行う。なかなか照れくさい気持ちもあるが。
- なかなか簡単そうできない一番大切なこと。それは妻の話をよく聞くこと。
- 女性から学びてロータリアン。
- 母を大切にできる人は妻も大切にすることができると思う。
- ロータリー家族は友情と連帯感をはぐむもの。
- ロータリアンそれぞれの家庭の幸せが連鎖すれば、社会奉仕の念も自然と生まれてくるのではないか。
- 「少くして学べば則ち壯にして為すこと有り。壯にして学べば則ち老いて衰えず。老いて学べば則ち死して朽ちず。」一生を終えるまでロータリー哲学を学びながら、社会、家族に幸せをもたらし、貢献することが大切。



【第2班】 日 時：2018年9月10日(月) 場 所：ユアーズホテルフクイ 橋

出席者：(座長)清水則明、石丸敦士、横山強志、山田和徳、市橋信孝、細江 究、松田将裕、伊藤仁一郎、角谷恒彦、荒本秀一、大森正男、山本 宝、岩下春幸、山本啓史、白江文夫、朝倉真博、中広 久、渡辺崇嗣、(世話役)千頭和孝則 計19名

- 病気を患った時に病院選びから医師選びまで奥様が必死で手伝ってくれた。入院中も寄り添ってくれて奥様に感謝している。
- 県外への出張も多い中、幼い子供三人の面倒を見てくれている奥様に感謝している。
- お子様は既に社会人となり、独り立ちしている。奥様と二人、仲良く余生をどう過ごすのが良いか、考えている。
- 奥様がやることなすこと、文句を言うが、最近はやわらなくなった。奥様の家事(皿洗い)を手伝うようになり、大変さを痛感している。
- お子様3人ともに独り立ちをし、正月だけは全員で集まることにしている。孫までおり、孫の世話も大変だが、良いファミリーだと思っている。
- お子様は既に独立し、全員県外にいる。家計は奥様に任せているが、任せることが夫婦円満の秘訣だと思う。
- 幸せの絶頂。結婚して、40年を迎える。最近、思うことは、世の中の趨勢として、子供を大事に育て過ぎているのではないか。父親は背中を見せて、母親がしっかり子供を育てる、従来の日本的な育成が良いのではないか。

【第3班】 日 時：2018年8月29日(水) 場 所：開花亭 sou-an

出席者：(座長)坂本安夫、油谷啓司、岩崎 新、桑原慎治、橋本一也、宇野良二、山本一雄、小藤幸男、(世話役)浮田慎太郎 計9名

- 感謝の気持ちを持っている。しかし「ありがとう」の言葉がなかなか言えない。
- 85になってやっと配偶者のありがたさがわかってきた。
- 子供は多いほうがよいというのが素直な意見。
- 家族との会話は少ない。特に配偶者に感謝の気持ちを言いくい。
- 映画「万引き家族」はコミュニケーションの取り方を学ぶにはよい。
- 6月に結婚したばかりだが「ありがとう」ということづくづく実感する。



【第4班】 日 時：2018年9月5日(水) 場 所：梅の花 福井店

出席者：(座長)石橋正人、伊藤 昴、野村直之、西澤雄三、林 正岳、萬谷宏治、竹原和行、杉本裕之、谷崎由美子、片山 元、加藤信一、鷺田泰紀、吉岡正巳、英 貴子、(世話役)北 晋介 計15名

- 結婚するときには大切にす、毎年1回は海外に、と言っていたのに。。。
- 妻は知り合ったときは非常に美しく魅力的で、今も親友であり、戦友であり最大の理解者である。子供も自分の後を継いでくれて感謝。
- 自身が修行中に、自宅(旅館)も子育ても任せっきりだった。妻は勿論、社員に対しても家族と同様感謝の気持ちを忘れないし、それを伝えるようにしている。
- 子供は県外の大学、母親はグループホームという家族一同に会することが難しい状況で、家族の為にということがなかなかできていないが感謝の気持ちを忘れないように心掛けている。
- 父親はロータリー会員、そして息子の奥様、娘の旦那様もロータリーのご縁で、という文字通りのロータリー一家。ロータリーはアットホームで本当に素晴らしい。
- 一切家庭を帰見せず、仕事一筋だった父親が、母親が難病になったときに仕事を辞めて懸命に介護している。ロータリーの諸先輩方も本当にご両親を大切にしていって大変素晴らしい。
- 県外で同郷の者同士が知り合い結婚した。単身赴任が長く、土日もなく子供も任せっきりで子育ては何もしていないと言われ、家族と自分の間に線が引かれていた。単身赴任から解放されて今は妻が笑っていれば家庭が幸せでうまく回っていると実感できている。
- 当時県外で旅館をしていた妻を連れて来た。最後を看取ってもらうのは妻しかいない。
- 阪神大震災の年に結婚したのでニュースを見ると当時を思い出す。これからも家庭と仕事をバランスよく夫婦仲良くやっていきたい。



第1回 炉辺会談 議事録 議題 「家族について」 No.2

- 自分が子供の時、父親が仕事で全く家にいなかった。会社が軌道に乗ると、今度はお付き合いで家にはおらず家庭における父親のポジションというものが未だによくわからない。先輩方にいろいろ学びたいと思っている。
- バブルの頃は従業員を雇い、仕事の関係で接待、ゴルフ、温泉とほとんど家にいなかった。50歳になるにあたり思うところがあり、自分がやめると一番苦しいと思うもの(平日ゴルフとタバコ)を1月1日からきっぱりやめた。それから20年、今では妻と世界遺産めぐりをしている。孫も増え、家族に囲まれ幸せに過ごしている。
- 出身は県外だが子供は3人も福井で生まれた。会社は不夜城の状況で朝も夜も家に車が止まっていないので職業を聞かれたり、子供が県外に出たりで5重生活になったこともあった。卓話の一筆啓上にあつた、「ありがとう」という言葉を大切にしている。あるとき娘から、「今私がこうしていられるのもお父さんがお仕事頑張ってくれていたおかげ」と言われ、子供は親の背中を見てくれているものと実感した。家を建てたいと来られるお客様は、新しい幸せに一歩踏み出す、もしくは更に絆を強めるタイミングである。このような皆様を更に幸せに、と心がけている。
- 妻は経営者であり、ゴルフも勝てないという状況だが、家族があつて良い仕事ができる、家族の為に頑張れるということに感謝している。

【第5班】 日 時：2018年9月25日(火) 場 所：かんきち 福井駅前店

出席者：(座長)清水正一、伊藤 彰、藤井健夫、清水嗣能、森川圭造、清川卓二、山内鴻之祐、小泉達哉、大門博也、北島 恬、玉木 洋、渡邊義信、(世話役)小谷哲治 計13名

- 心の支え。一緒にいたい。老後をどうやって暮らすか?家族があつて仕事がある。
- 仕事柄、壊れた家族を見てきた。それぞれの思いがある。自分の身内を大事に。絆が大事。
- 家内に感謝。朝から晩まで一緒に仕事をしている。家内無くて商売もない。
- ホテルは掃除してくれるルームメイクが頑張ってくれる。暑かったので大変。主婦は遅くなると、家族に影響。辞めたいとの申し出に、経営者として反省した。
- 父の仕事は、移動がなかったため家族は一緒だったが、自分は転勤族。
- 大事なのは、食事の時間。映画「万引き家族」は、特殊な結びつきの家族。食事のシーンが多く、思いが共有して場面が進んでいく。思いの共有に食事は重要。
- ファミレスでは一緒にいてもスマホを見ている家族が多い。「食事中のスマホはダメ」を実施している。
- 愛欲がないと家族は成り立たない。
- 「勤続バッチおめでとう」の「♪あなたは家庭円満で～」が好き。
- 64、5くらいから奥さんと一緒にが多くなった。奥さんに嫌な言葉を発しないと約束したが、なかなかできない。マザーテレサの言葉に「思考に気をつけなさい。」がある。考えると奥さんを部下のように考えていた。しかし、急に変わらない。上司だと思ふようにしたところ、うまく行っている。
- 父も母も仕事仕事で家族との時間がなかった。自分は家族との時間を大事にしようと思っていたが、父と同じように帰りは遅い。奥さんが早起きなので、私も早起きするようにして少しでも一緒に時間を増やした。休日は会社には休むようにして、子供と一緒にいるようにしている。
- 長男が、同棲をしたいと。まずは相手のお父さんに挨拶をして、その後に彼女を連れてくるように。数年後おじいちゃん?と妄想している。
- 飲みに行くのは週1回。それ以外は奥さんと晩酌する。
- 家では、食事しながら新聞を読まない。テレビはがまんして奥さんのバラエティ番組に付き合う。今までの反省を踏まえて楽しんでいる。
- ロータリークラブクリスマス会に子供は喜んでいて、奥さんはどのくらい喜んできていたのか?奥さんは、挨拶で疲れてしまう。ロータリーの旅行喜んでた。
- 孫が、来年小学1年。孫孝行をしよう。
- 旅行で一緒になった夫婦の仲が、良いのに感心をした。
- 会社で家族のようなつながりというのは難しい。皆さんに勉強させてもらいたい。
- 認知症の母を単身赴任ながら現在面倒を見ている。今まで密接に母と接することがなかった。感謝してくれる。後で振り返ると印象深い福井の生活になると思う。
- 兄がいるが兄もロータリー。兄弟でロータリー。
- 家族について今まで語らなかつた。
- 夫婦関係は千差万別。
- 24時間家族のことを考えている。社員のことも家族と考えている。



【第6班】 日 時：2018年9月11日(火) 場 所：京町家 萬會

出席者：(座長)渡辺和男、出雲路康照、大村宏司、林 洋三、斎藤信二、小林満只、天谷智宏、佐々木知也、片山加奈子、(世話役)長谷美左子 計10名

- 子供達 も成長、独立し夫婦だけの時間を過ごすことが増えてきた。今さらながら、妻に感謝の言葉を述べたり、表現をすることが少なくてくさいがしないといけないと思う。
- 病気になったことで、家族の大切さを大いに実感した。日々過ごしていく中で、家族と周囲の人には本当に感謝している。これまで、感謝することが少し足りなかつたと反省もしている。
- 50代後半から家族の大切さや必要性を感じている。一緒にいることで安心感がある。
- 単身赴任のため、家族とのコミュニケーションはメールや電話で取り合っている。今は、社員が一番身近な存在で感謝している。
- 子育て、妻の役割を持ちながら経営者として仕事をしていくのは大変だった。今は、子育てから解放され経営者として仕事をするのがとても楽しい、充実している。これからは、子供達のために長生きしたい。また、社員を幸せにすることが私の使命だと感じている。
- 家族は生きる糧。社員との会議は月2回開き、誰もが言いたい事を話せる場所になっている。自分は、誰かのために頑張ってきた。
- 妻と仕事を通じて一緒にいる時間が長く、妻の強さや優しさをしっかり感じ仕事をしている。妻には感謝しているし、女性社員を上手にまとめる妻の手腕に脱帽です。